



# 第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.6

2012.6

発行／麻生区区民会議  
編集／企画部会  
事務局／麻生区役所企画課  
電話：965-5112  
Fax：965-5200  
E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp



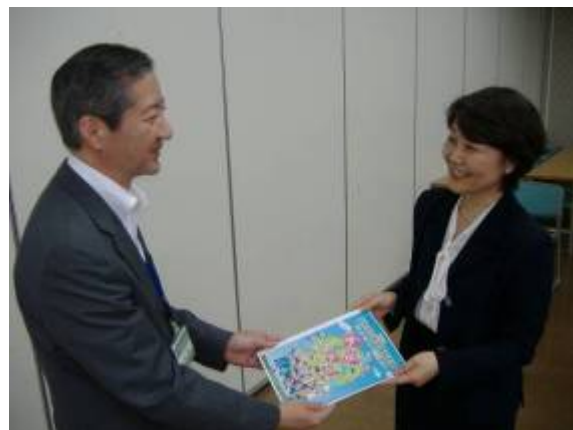
平成 22 年 7 月にスタートした第 3 期区民会議は、平成 24 年 6 月に活動を終了します。課題の審議と取り組み内容、解決のための提言を報告書にまとめました。

その概要をお伝えします。

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「川崎市自治基本条例」を制定しました。区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために各区に設置され、麻生区でもこれまで 3 期（1 期 2 年）に亘って活動してまいりました。

第 3 期では、「人と人と心をつなぐ地域づくり」をテーマに掲げ、

公募と団体及び区長推薦による 20 名の委員が、麻生区内の様々な課題を抽出、分類し、2つの専門部会（「地域交流・文化」と「環境・緑化」）に分かれて、様々な観点から調査・審議・試行を重ね、どのように解決するべきかについて具体的に区長への提言（次頁参照）にまとめました。



武溝委員長から瀧峠区長へ、報告書を提出しました。

## 【第3期区民会議からの提言】

### ● 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり

#### ① 広報活動

- ・ 市政だより特別号の発行
- ・ ガイドブック（保存版）の発行
- ・ 総合相談窓口の設置  
氾濫・散在する情報を整理・統合し、リーフレットとして編集、高齢者・障害者などが利用し易くする。同時に、情報のワン・ストップ・サービス化を推進する。

#### ② 地域の絆づくり

- ・ 町会・自治会等によるささえあい活動の運用・展開
- ・ 小地域で見守り・ささえあいを行うための仕組みづくり
- ・ 地域活動等を通じた地域交流の場の創出  
小地域での絆づくりには「お互いに挨拶が交し合える、会話ができる関係にある」ことが前提になる。それには、相互に顔を合わす多様な機会の設定が望まれる。

#### ③ 担い手の発掘と育成

- ・ 「生涯学習推進会議」の設置目的の明確化
- ・ 区の地域人材育成の指針を策定検討
- ・ 「（仮称）成人学級推進委員会」の新設
- ・ シニアの地域デビューの企画を有効活用



#### ④ その他

- ・ 高齢者の交通手段の確保に関する行政の支援
- ・ 「コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク」が機能するための取り組みの検討



### ● 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり

#### ① 文化担当官の設置

- ・ 子供から大人まで多くの区民がさらに芸術・文化を楽しむ体制づくり
- ・ 区役所においても区民としっかり結びつき、継続した文化行政を実施する体制づくり
- ・ 地域の芸術・文化団体との連携や幅広い地域情報の収集と発信を進めるための、調整・相談機能

#### ② （仮称）麻生文化会議の設置

- ・ 地元の芸術家や団体等とのネットワーク強化
- ・ 周辺施設との連携拡大、区民・行政・学校・団体間の顔が見える関係づくり
- ・ 年間を通じた情報発信、相互協力。横断的な組織として活動情報をつなぐ



#### ③ 川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用

- ・ 広告幕、のまりや立て看板、出店制限などに関する関係者を交えた協議
- ・ 美しい整然とした街並みと芸術文化催事の「にぎわい」が共生したまちづくりの検討



実践的な「芸術・文化のまちづくり」へ

## ● 循環型のまち・生ごみリサイクル

### ① 麻生区主催の「生ごみリサイクル講習会」を定期開催

- ・市の生ごみリサイクルリーダー派遣制度の活用
- ・麻生区廃棄物減量指導員連絡協議会などと連携



### ② 写真展の継続実施

- ・「生ごみからできた堆肥・肥料でつくった花や野菜の写真展」を継続実施して区民への浸透をめざす
- ・募集方法（写真の大きさ）や展示方法の工夫を



### ③ 区独自の広報を

- ・「生ごみ減量・資源循環」の普及・啓発
- ・「ごみを減量させたい」という強い意志と広報の工夫
- ・区独自で身近な実践例紹介などの広報
- ・「ごみ減量特集」などを作成し、より効果的な広報活動の検討を

### ④ 市民農園に優先枠

- ・各家庭での生ごみ自家処理（堆肥化）を進めるうえで、市民農園の借用条件に生ごみ使用者優先枠を



### ⑤ 「仮・あさお広場（ファーマーズマーケット）」の定期開催

- ・作った堆肥を農産物と交換できるシステムの構築
- ・市民と農家が直接つながるファーマーズマーケット
- ・循環型のまちづくりを区全体で目指す

## ● グリーンアップ・里山ボランティア

### ① 地域に限定されない

#### 里山ボランティアの構築

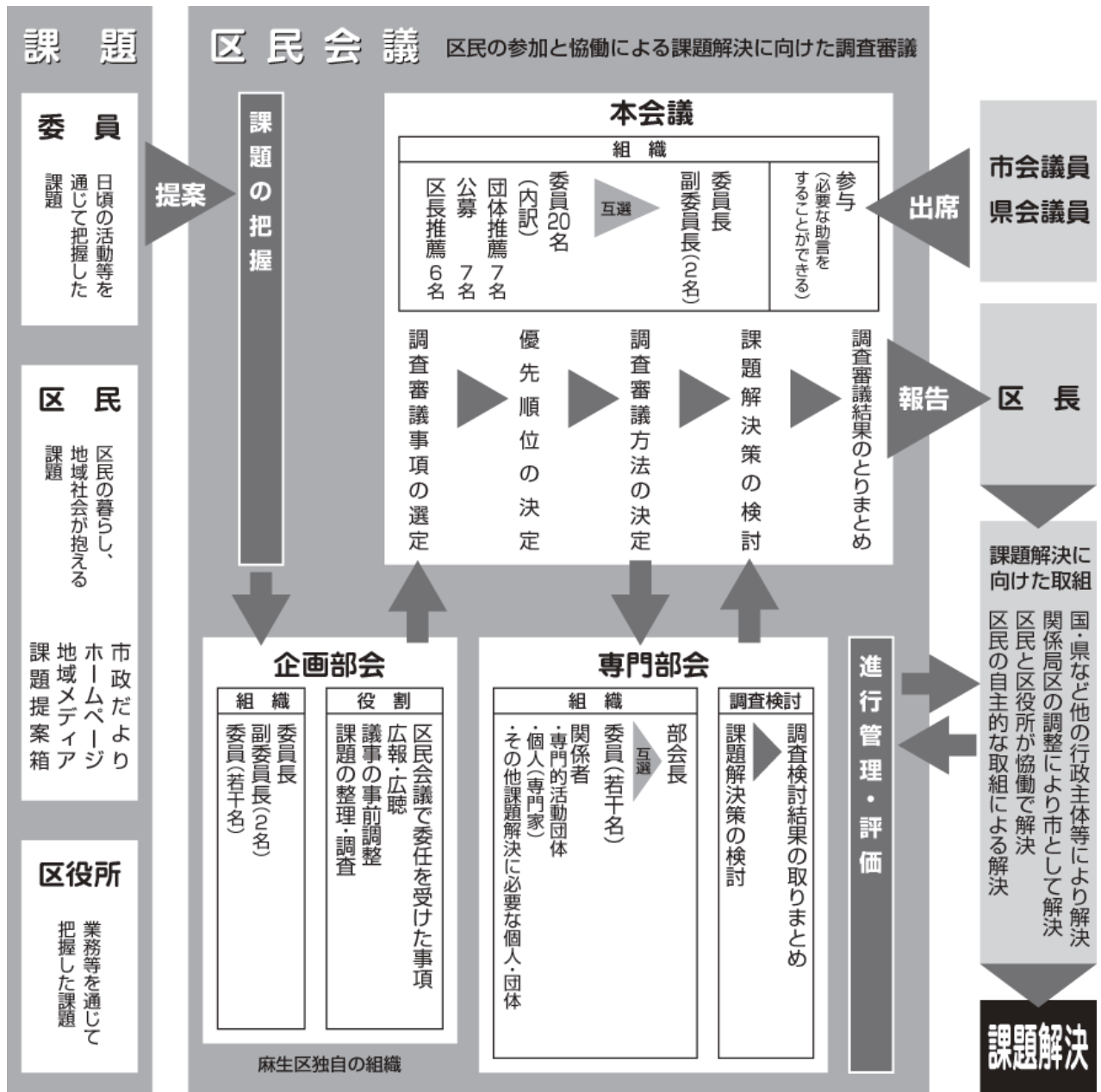
- ・区民・関係機関・行政と協働して、管理の行き届かない緑地を保全管理していくシステムづくり
- ・地域に限定されない、区全体の緑を保全管理していく団体の立ち上げ
- ・地元住民へ管理を引き継いでいくよう、保全管理団体を増やしていくシステムの構築
- ・緑の保全活動を通じた新たなコミュニケーションの場の形成と、地域の絆づくり

### ② 「麻生区里山ボランティア」事業の推進

- ・平成 24 年度麻生区地域課題解決型提案事業で取り上げられた「麻生区里山ボランティア」の定着発展
- ・区民会議の調査審議を継続発展する新しい形



# 【麻生区民会議の機能イメージ】



## 【第3期委員名簿】50音順

天野 悦子(公募)	菅原 敬子(麻生区文化協会)
飯塚 馨 (麻生区町会連合会)	竹市 八郎(区長推薦)
	武濤 京子(区長推薦)
石井 郁朗(区長推薦)	田中 元介(公募)
植木 昌昭(公募)	土井 司(公募)
魚本 陽子 (麻生区社会福祉協議会)	高瀬 隆雄 (川崎市美化運動実施支部)
大高 泰雄(区長推薦)	東川 禎男(公募)
梶 稔(区長推薦)	福田 真(公募)
勝田 佳代子(公募)	柳島 五郎 (麻生区交通安全対策協議会)
金光 秀尚(区長推薦)	
鴨志田 敏彦 (麻生区商店街連合会)	山崎 優 (麻生区子ども会連合会)

区民会議では、会議の審議状況を区民の皆様にお伝えするため、町会連合会のご協力を得て、区民会議ニュースを回覧させていただいています。

第3期では、審議課題解決のための提言を広く皆様にお知らせするため、この概要版を作成しました。報告書(冊子59ページ)は、麻生区役所企画課で配布していますので、ご希望の方はご連絡ください。また、ホームページからもご覧いただけます。

7月にスタートする第4期も、麻生区の特徴を生かし、生き生きと住みやすいまちづくりを進めようと準備中です。区民会議へのご意見ご要望などは、区役所ロビーの提案箱にお寄せください。